

2024年4月10日発行

東海生研 ～メールマガジン 第232号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2024年度「知」の集積による産学連携推進事業

☆個別相談について

NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会の個別相談は日常的に実施しています。個別相談では、競争的研究資金の獲得支援（共同研究機関の紹介、提案内容の検討、提案書のブラッシュアップ）、事業化支援などを行っています。

（連絡先）

事務局長 岩佐精二

E-mail: npo-tokai*ab.auone-net.jp（*を@に書き換えてください）

電話：052-789-4586

.....

2. その他の地域でのセミナー・シンポジウム・会議等（オンライン開催があるもの）

☆食料安全保障と不測時対策 ～いざという時の備えと法制化～（ウェビナーのご案内）

本フォーラムでは、食料サプライチェーンの各段階の視点から、日本の食料安全保障についての考え方や課題、そして不測時の対応に関連する論点をお示しいただいたうえで、不測時対策の望ましい仕組みやあり方について議論したい。

開催日時 2024年4月16日(火) 14:00～17:00

会場 Zoom ウェビナー開催

参加費 無料

申込 URL https://zoom.us/webinar/register/WN_nQD22QRCR0-uNLrGrVpU5g

<https://www.nochuri.co.jp/event/event-34445/>

.....

3. 農林水産・食品分野の公募情報

【研究開発関連】

☆国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター：「令和6年度スタートアップ総合支援プログラム(SBIR 支援)」

☆独立行政法人日本学術振興会：「令和6(2024)年度科学研究費助成事業（研究活動スタート支援）」

☆独立行政法人日本学術振興会：「令和6(2024)年度科学研究費助成事業（国際共同研究加速基金（海外連携研究）」

☆JST：「研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム（START）令和6年度プロジェクト推進型 SBIR フェーズ1 支援」

- ☆JST：「2024年度 先端国際共同研究推進事業（ASPIRE）」
- ☆JST：「2024年度 戦略的創造研究推進事業 ALCA-Next」
- ☆JST：「2024年度 ASPIRE-米国 NSF Global Centers バイオエコノミー領域 共同研究提案の募集」
- ☆JST：「2024（令和6）年度 研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）実装支援（返済型）」
- ☆経済産業省：「令和6年度 成長型中小企業等研究開発支援事業」
- ☆JST：「2024年度 先端国際共同研究推進事業（ASPIRE）における日英共同研究提案の募集」
- ☆NEDO：「2024年度 脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム」
- ☆NEDO：「2024年度 木質バイオマス燃料等の安定的・効率的な供給・利用システム構築支援事業/木質バイオマス燃料（チップ、ペレット）の安定的・効率的な製造・輸送等システムの構築に向けた実証事業」
- ★その他

【研究開発関連以外】

- ☆農林水産省（農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター）：「令和6年度「知」の集積による産学連携推進事業のうちバイオエコノミー推進人材活動支援事業」

上記、各事業及びプログラムの詳細な情報については東海生研 HP をご覧ください。

東海生研ホームページの NEWS（お知らせ）の URL <https://www.biotech-tokai.jp/>

5. その他の情報

(1) 新技術情報

☆害虫関係

- イネのしいな症状を発生させるイネカメムシの加害時期と殺虫剤の散布適期

三重県内の中晩生品種のイネでは、イネカメムシの加害が原因と考えられる不稔症状や、斑点米の発生が増加しています。イネカメムシによる不稔症状および斑点米の発生を抑えるための殺虫剤の散布適期は、(1) 出穂期直後に 1 回目の散布 (2) その 2 週間後（収穫 3 週間前）に 2 回目の散布を行います。

- ・三重県農業研究所 HP：

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001090376.pdf>

☆品質評価関係

- ご飯のおいしさを表す言葉をリスト化しました

－ 米飯の官能評価用語体系の構築に向けて －

農研機構食品研究部門は伊藤忠食糧株式会社と共同で、米飯の食味や食感を表す言葉を

広く収集・整理して、約 100 語から成る用語リストを作成しました。このリストは、さまざまな米飯の品質を詳細に評価する際や米の品種や炊飯方法などによるおいしさの違いを具体的に伝える際の参考資料として使うことができます。今後、辞書のように使える「米飯の表現体系」として展開する予定です。

・農研機構 HP:

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nfri/159423.html

☆災害対応関係

○令和 6 年能登半島地震における農業被害の 復旧・復興からの参考技術情報

農研機構では、農林水産省と連携し、令和 6 年能登半島地震による農業関係の被害から迅速に復旧・復興をはかるべく、農研機構の有する研究成果の中で参考となる技術面の情報について、参考技術情報として整理し、ここに紹介いたします。これらの技術情報が農業被害からの復旧・復興に少しでもお役に立てば幸いです。

・農研機構 HP:

<https://www.naro.go.jp/disaster/ishikawa202401/index.html>

.....

編集後記

2024 年度が始まりました。新たな環境で仕事をされている方も多いと思います。東海生研も少し体制に変化がありますが、今年度もセミナーやアグリビジネス創出フェアなどのイベントを企画しています。適宜、案内をさせていただきますのでどうぞよろしくお願いいたします。さて、農林水産分野の研究目標は、高品質化、収量増、省力化などですが、フードロスにターゲットを当てた研究の取り組みも出てきました。また、最近話題となっている映画監督がフードロスをテーマとした動画を手掛け、これが web で公開されていたりもします。視点の新規性は、同時に独創性につながることもあると感じています。今年度も引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 伊藤・岩佐・道村

TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2*y4.dion.ne.jp (*を@に書き換えてください)

URL : <https://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメルマガ配信の登録 (無料) ご案内

<https://www.biotech-tokai.jp/ezine-reg>